



第 75 号
 平成25年 9 月30日 発行
 編集・発行
 (一社)新潟県サッカー協会広報委員会

KIRIN CHALLENGE CUP 2014

SAMURAI BLUE(日本代表) VS ジャマイカ代表

酒井 高德 (シュツットガルト)

新潟県出身、元アルビレックス新潟

日本代表メンバー入り!!



酒井 高德

場 所：デンカビッグスワンスタジアム

日 時：平成 26 年 10 月 10 日 (金)

キックオフ 19：25 (予定)

アギーレジャパン国内 3 戦目!

2年ぶりに日本代表が新潟に来県し「キリンチャレンジカップ2014」が開催されます。新たにサムライブルーを指揮するハビエル・アギーレ監督の就任第3戦目(過去1敗1引き分け)となり初勝利を目指します。アギーレ監督は、選手・監督としてワールドカップで活躍し、2002年日韓大会ではメキシコ代表を率いて来県しました。偶然にも今年の「第18回国際ユースサッカーin新潟」ではU-17メキシコ代表が招聘され、世界トップクラスのプレーと新潟市内の小学生との心温まる交流を見せてくれました。どうやら新潟県に縁があるようです。

今大会では、香川真司・ハーフナーマイク両選手が新たに日本代表に招集されました。既に代表入りしている酒井高德選手の活躍とともに期待はますます膨らみます。

対するジャマイカチームはFIFAランキングこそ日本より劣るものの、選手個々の身体能力の高

さに定評があり、カリブの気質そのままに素晴らしいプレーを見せるものと思われれます。

「2018 FIFAワールドカップロシア」を目指す新生アギーレジャパンに期待し応援しましょう。



長崎がんばらば国体 2014

少年男子・女子出場!!

●●●●● 少年男子 ●●●●●
 島原市 10月17日(金)~21日(火)
 ●●●●● 女 子 ●●●●●
 雲仙市 10月18日(土)~21日(火)

今年度の新潟県女子は、県内女子チームから選手を募集し、1次選考、2次選考を経て、国体メンバー15名とバックアップメンバー14名を選考し、北信越国体に向けて練習、練習試合を重ねてまいりました。

この活動が出来たのも、選手を派遣して頂いた県内女子チーム関係者の皆様、多大な後援を頂いています(一社)新潟県サッカー協会(二社)新潟県サッカー協会関係者の皆様、新潟県体育協会の皆様のご理解とご協力を頂いたからだと思います。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

北信越国体は、準決勝で福井県に2対1で



長崎国体に向けて

2014年度国体新潟県女子監督 **佐野 佑樹**

今回の北信越国体では、非常に苦しい戦いでしたが、長崎国体への出場権を獲得することができました。これも皆様方の支えがあったことと感謝しております。

今年度の国体少年選抜は、「長崎国体で勝つ」ことを視野に入れたチーム作りを昨年から行ってきました。本

国体では、チームの良

今年度の北信越国体でも、自分たちのスタイルを変えず、アグレッシブに戦うことが出来たように強化してきました。前線からの激しいボールプレッシャーとサイドを起点にした攻撃が特徴であり、さりとサイドを起点にした攻撃が特徴であり、さりとサイドを起点にした攻撃が特徴であり、さりと

国体で強豪県と対戦しても、自分たちのスタイルを変えず、アグレッシブに戦うことが出来たように強化してきました。前線からの激しいボールプレッシャーとサイドを起点にした攻撃が特徴であり、さりと

国体では、チームの良

今年度の北信越国体でも、自分たちのスタイルを変えず、アグレッシブに戦うことが出来たように強化してきました。前線からの激しいボールプレッシャーとサイドを起点にした攻撃が特徴であり、さりと

国体では、チームの良

サッカー少年男子監督 **藤田 敬三**

第29回日本クラブユースサッカーU-15選手権大会

長岡JYFC監督 西田 勝彦



新潟県サッカークラブ協会、長

新潟県と長岡市、そのプレーや3人目の動きとして北信越代表として、相手の背後をとるタイミングを共有しゴールを奪いにいく、挑み続ける強いチャレンジ精神を持って試合中はミスが起きて前を向くことを毎試合求めました。

そのチームコンセプトの中で次の5つのキーワードをあげました。

- ・時間、スペース、タイムニング、距離感、人
- ・ゴールのかけ方
- ・グループリーグでの距離感が広がって、良いポジションをとり味方との距離感を考え、アタッキングサイドでのワンタッチ

新潟市サッカーの皆様、応援、支援くださったの誇りと責任をもって大会に望みました。

積極的にゴールを指し、積極的にボールを奪いにいく、挑み続ける強いチャレンジ精神を持って試合中はミスが起きて前を向くことを毎試合求めました。

そのチームコンセプトの中で次の5つのキーワードをあげました。

- ・時間、スペース、タイムニング、距離感、人
- ・ゴールのかけ方
- ・グループリーグでの距離感が広がって、良いポジションをとり味方との距離感を考え、アタッキングサイドでのワンタッチ



新潟市サッカーの皆様、応援、支援くださったの誇りと責任をもって大会に望みました。

積極的にゴールを指し、積極的にボールを奪いにいく、挑み続ける強いチャレンジ精神を持って試合中はミスが起きて前を向くことを毎試合求めました。

そのチームコンセプトの中で次の5つのキーワードをあげました。

- ・時間、スペース、タイムニング、距離感、人
- ・ゴールのかけ方
- ・グループリーグでの距離感が広がって、良いポジションをとり味方との距離感を考え、アタッキングサイドでのワンタッチ

新潟市サッカーの皆様、応援、支援くださったの誇りと責任をもって大会に望みました。

積極的にゴールを指し、積極的にボールを奪いにいく、挑み続ける強いチャレンジ精神を持って試合中はミスが起きて前を向くことを毎試合求めました。

そのチームコンセプトの中で次の5つのキーワードをあげました。

- ・時間、スペース、タイムニング、距離感、人
- ・ゴールのかけ方
- ・グループリーグでの距離感が広がって、良いポジションをとり味方との距離感を考え、アタッキングサイドでのワンタッチ



新潟市サッカーの皆様、応援、支援くださったの誇りと責任をもって大会に望みました。

積極的にゴールを指し、積極的にボールを奪いにいく、挑み続ける強いチャレンジ精神を持って試合中はミスが起きて前を向くことを毎試合求めました。

そのチームコンセプトの中で次の5つのキーワードをあげました。

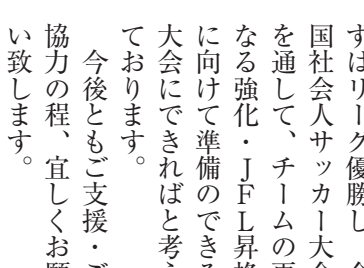
- ・時間、スペース、タイムニング、距離感、人
- ・ゴールのかけ方
- ・グループリーグでの距離感が広がって、良いポジションをとり味方との距離感を考え、アタッキングサイドでのワンタッチ

新潟市サッカーの皆様、応援、支援くださったの誇りと責任をもって大会に望みました。

積極的にゴールを指し、積極的にボールを奪いにいく、挑み続ける強いチャレンジ精神を持って試合中はミスが起きて前を向くことを毎試合求めました。

そのチームコンセプトの中で次の5つのキーワードをあげました。

- ・時間、スペース、タイムニング、距離感、人
- ・ゴールのかけ方
- ・グループリーグでの距離感が広がって、良いポジションをとり味方との距離感を考え、アタッキングサイドでのワンタッチ



新潟市サッカーの皆様、応援、支援くださったの誇りと責任をもって大会に望みました。

積極的にゴールを指し、積極的にボールを奪いにいく、挑み続ける強いチャレンジ精神を持って試合中はミスが起きて前を向くことを毎試合求めました。

そのチームコンセプトの中で次の5つのキーワードをあげました。

- ・時間、スペース、タイムニング、距離感、人
- ・ゴールのかけ方
- ・グループリーグでの距離感が広がって、良いポジションをとり味方との距離感を考え、アタッキングサイドでのワンタッチ

新潟市サッカーの皆様、応援、支援くださったの誇りと責任をもって大会に望みました。

積極的にゴールを指し、積極的にボールを奪いにいく、挑み続ける強いチャレンジ精神を持って試合中はミスが起きて前を向くことを毎試合求めました。

そのチームコンセプトの中で次の5つのキーワードをあげました。

- ・時間、スペース、タイムニング、距離感、人
- ・ゴールのかけ方
- ・グループリーグでの距離感が広がって、良いポジションをとり味方との距離感を考え、アタッキングサイドでのワンタッチ

第50回全国社会人サッカー選手権大会 出場について

JAPANサッカーカレッジ監督 野上 毅

2014年8月1日(金)〜3日(日) 聖籠スポーツセンターにて「第50回全国社会人サッカー選手権大会北信越大会」が開催され、新潟県勢としては7年ぶりに優勝し、9月27日(土)から和歌山県内で開催される全国大会への出場権を獲得することができました。

北信越大会期間中に「ツエーゲン金沢(現J3)」などがこの大会を経由してJFL昇格を果たしています。

我々JAPANサッカーカレッジもそうですが、JFL昇格を目指しているチームにとっては「JFL昇格へのラストチャンス」を賭けた大会にもなるように、最後まで粘り強く、ひたむきに走り、泥臭くゴールを奪い優勝することができました。また、全国大会で連戦が続くことを

東日本大震災 復興支援

がんばろうニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

【第50回全国社会人サッカー大会北信越大会結果】

- ・準決勝 VSアンテロープ塩尻 (長野県) 0-1
- ・決勝戦 VSサウルコス福井 (福井県) 0-4

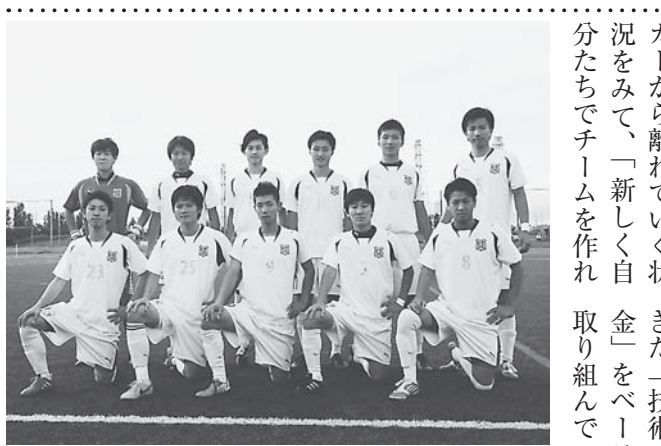
【第50回全国社会人サッカー選手権大会】

- ・9月27日(土)1回戦 VS VONDS市原 (関東代表)



全国クラブチーム選手権新潟県大会優勝とチーム紹介について

リジヨカレ新潟 広報担当 岩淵 陵平



この記事を御覧にばまた皆がサッカーになっていく新潟県の新潟クラブ関係者の皆様、市トレセンメンバーをはじめまして。

新潟市を拠点に活動している社会人クラブ『リジヨカレ新潟』です。全国クラブチーム選手権新潟県大会を昨年引き続き優勝してきたことで、この度このような機会を頂き大変嬉しく思います。簡単ではございますが、当チームの紹介をさせていただきます。

チーム発足は2012年9月。このチームの代表を務める八尾坂駿(FC五十嵐/アルビオン出身)と小林健太郎(小針中/新潟西高出身)が、高校・大学卒業後に県内の同世代の仲間たちがサッカーから離れていく状況をみて、「新しく自分たちでチームを作りたい」という思いから、2012年9月に「リジヨカレ新潟」を設立しました。現在は19、26歳の選手が中心で、2年目を迎えています。新潟県の社会人サッカーの発展に貢献出来るように、今年も頑張りますので、今後とも応援の程、宜しくお願い致します。

第11回全日本大学フットサル大会に参加して

新潟大学学友会サッカー部 フットサルチーム 主将 小熊 渚音



今回、私たち、新潟と、チームとして結束... 大学学友会サッカー部は、北信越代表として、第11回全日本大学フットサル大会に出場させていただきました。

新潟県、北信越予選にあたって、特別にフットサルの準備をすることはほとんどなく、雨天時に屋内でフットサルをするくらい、ぶっつけ本番のよう...

新潟県予選から全国大会まで携わり、個人とチーム練習に加えて、フットサルのチーム練習も行い、体力的に厳しい日程もありました...



第六回クルコ新潟県キッズサッカーフェスティバルU-8について

四種委員長 石川 正記



平成二十六年九月六日、さわやかな秋晴れのもと、聖籠スポーツセンター正面人工芝ピッチにて第六回クルコフェスティバルが開催された。



この度、静岡県御殿場市で行われた第三十八回全日本少年サッカー大会に参加してきました。

この度は、静岡県御殿場市で行われた第三十八回全日本少年サッカー大会に参加してきました。

この度は、静岡県御殿場市で行われた第三十八回全日本少年サッカー大会に参加してきました。

この度は、静岡県御殿場市で行われた第三十八回全日本少年サッカー大会に参加してきました。

全日本少年サッカー大会を終えて

エスプリ長岡FC 監督 渡辺 重夫

この度、静岡県御殿場市で行われた第三十八回全日本少年サッカー大会に参加してきました。

この度は、静岡県御殿場市で行われた第三十八回全日本少年サッカー大会に参加してきました。

この度は、静岡県御殿場市で行われた第三十八回全日本少年サッカー大会に参加してきました。

この度は、静岡県御殿場市で行われた第三十八回全日本少年サッカー大会に参加してきました。

スマイル&チャレンジ 当協会にご支援いただいている法人各社 TONYテレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報 東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会 2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!

平成26年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰 文部科学省では、地域または職場におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及びスポーツ団体を、「生涯スポーツ功労者」及び「生涯スポーツ優良団体」として表彰している。 新潟県 星野 陸夫 指導の期間/S36~現在 (一社)新潟県サッカー協会顧問等

2014チャレンジ新潟報告書

星 直樹

第38回全日本少年サッカー大会を終えて

高田商業高校3年 大島 宏輝

全国高校定・通サッカー大会に参加して

県立荒川高等学校 青木 洋人

今年で第4回目になった。試合を経験する「2014チャレンジ新潟」を7月26、27日、東日本大震災復興と新潟県の強化育成を目的とし新潟聖籠スポーツセンターにて開催いたしました。

東北、北関東を中心に、U-12男子はベガルタ仙台(宮城県)、エストレージャス(福島県)、U-12女子は戸木南ボンバーズFC(埼玉県)、フェアリーいわき(福島県)、U-15男子は、モンテディオ山形庄内(山形県)と鹿島アントラーズ(茨城県)、U-15女子はベガルタ仙台とFun Lady's Football Club(宮城県)に参加頂き強化育成をはからせていただきました。

県内の各カテゴリースタッフから、「県内では経験することがないプレッシャーやスピードの中で目的を持ったコントロールや判断の大切さを感じてくれたと思う」また選手も「コーチが日頃言うている「観ること」「考えること」の大切さがよくわかった」と日頃のトレーニングを確認するまたない機会になったと思います。U-12女子のカテゴリーでは、「1対1での対人プレーに変化が見られ

ました。試合を経験するたびにレベルの高い相手動きについていけないようになった」と選手成長が見えたというものでした。

参加頂いた各チームの代表の方からも「非常にレベルが高い試合の中でトレーニングの成果を確認出来る事がありがたい」「この新潟「チャレンジ新潟」にしていきたいと考えています。

最後に関係いただきました、ジャパンサッカーカレッジ、関係頂いた方々に厚く御礼申し上げます。



8月2日(9日まで)私は静岡県で「第38回全日本少年サッカー大会」に参加してきました。審判員は全国各地から38人集まり、志高から8人仲間と交流しました。

今回の研修会では、様々なことを経験し、学ぶことが出来ました。

研修会の間は、ほぼ毎日プラクティカルトレーニングと講義を行いました。

プラクティカルトレーニングの内容は、

- ・1人制審判の動き方
- ・選手との距離感
- ・主審、副審の動き方
- ・ファウルの見極め
- ・シグナルの正しい指示方

などを学びました。講義は、JFAインストラクターからの講義の他に、1級審判員の方の講義や、イングラントのFAの方からの講義も行いました。

講義の内容は、

- ・プレーを円滑に進める方法
- ・試合当日までの準備の仕方
- ・選手の意図をよむことの重要性
- ・審判としての心構えなどを学びました。

大会関係者としての在り方などを学びました。

試合では、5名の審判員と、育成インストラクター1名、JFAインストラクター1名の計7人に分かれて、予選から準々決勝までを進めました。1日の4〜6試合を行い、夜の講義の後のグループミーティングで試合の反省会を行いました。

反省会では、主に育成インストラクターの方から助言を頂きました。

反省会の内容は、

- ・打ち合わせを細かく行う
- ・グループの仲間と協力する
- ・ファウルを取った場合、説明出来るようにする
- ・試合の流れをよみ、試合を進める
- ・副審と第4の審判員とのコミュニケーションを多めにとる
- ・関係している人全員が試合を楽しむ保障をしておく
- ・というものでした。技術的なことよりも、審判としての在り方や、

去る8月9日(12日に第24回全国高等学校定時制・通信制サッカー大会が静岡県清水市で開催されました。

荒川高等学校サッカー部が新潟県の代表として参加してきました。

県大会では感じることのなかった全国大会独特の緊張感が漂う中、一回戦で兵庫県代表の神戸市立楠高等学校と戦いました。

結果は0対13と残念



平成26年8月17日から22日に四国プロツクの高知県で行われた第45回全国中学校サッカー大会に北信越ブロック第2代表として2年ぶり7回目の出場をしてきました。

1回戦は近畿プロツク第1代表の兵庫県南あわじ市立西淡中学校との対戦でした。雷雨で前の試合が中断し、試合開始時間の遅れやWUP時間の短縮を余議無くされた難しい状況での試合開始となりました。しかし、試合開始から選手たちは自分たちの特徴をしっかり出し、前半からボールを保持している時間が多く、自分たち

の流れでゲームを進めることができました。立ち上がりから決定機もいくつかありましたが、決めきることができないう状態が続く、そのような中から相手のカウンターや自分たちのミスから失点をしてしまい、0-3というスコアで敗れてしまいました。勝てる要素がたくさんあっただけに悔しい結果ではありませんが、自分たちが取り組んで来たことがよく出ています。

平成13年32回大会出場の内野中の1回戦勝利以来、新潟県勢は小針中と内野中が2回、

南浜と鳥屋野中が1回ずつ北信越大会を勝ち抜き、全国大会に出場してありますが、大会での勝利がなく、先輩たちを越えようとするのを目指して取り組んできたのですが、結果が伴わず、残念ではありましたが、今後、自チームを始め、新潟県勢のチームが全国の舞台で活躍できるよう努力していきたいと思っています。

最後に、新潟県中体連の先生方を始め、多くの方に支えられ、今大会に参加できたことに感謝申し上げます。



第45回全国中学校サッカー大会に参加して

新潟市立内野中学校 サッカー部顧問 渡邊 忍



EXILEカップ2014北信越大会

理事 金子 玄益

EXILEカップ 大会当日は、県内外から三六チームが集まり、新潟県の新潟・聖籠スポーツセンター（通称アルビレツジ）を会場にまだ、残暑厳しい八月二十三日開催されました。同大会については、第一回、第三回を当協会が主管として行っており、今回の第五回大会が三度目の主管としての開催でした。

ただ、これまでと異なりイベント会社が主体でなく、サッカー協会が主体となり、準備、大会運営、競技進行などすべてにおいて、中心となって運営した点が苦心したところでした。それでも、過去二回のノウハウがあったおかげか、大会は大成功となりました。

「夢をもってがんばるみんなをEXILEは応援します！」この大会のキャッチコピーの元、私たち新潟県サッカー協会も選手たちにも夢をもっていただけるよう、努力してきました。

大勢の選手のみなさん、スモスII（群馬）、準優勝は新潟東クラブレジェンダ（新潟）、第3位はマリナガールズ



大会当日は、県内外から三六チームが集まり、新潟県の新潟・聖籠スポーツセンター（通称アルビレツジ）を会場にまだ、残暑厳しい八月二十三日開催されました。同大会については、第一回、第三回を当協会が主管として行っており、今回の第五回大会が三度目の主管としての開催でした。

りがとうございました。そして、審判の方、会場の方、運営をお手伝いしてくださった方、M.Cの女子高生のお二人、本当にありがとうございました。

そしてなによりも、子供たちに夢を与えてくださった主催者であるEXILE関係者のみなさん、心から感謝申し上げます。

準備やら運営やら大変でしたが、選手たちの笑顔で大会を開催し、本当に意義のある大会でした。

2014第2回TeNY新潟県ママ・レディーズサッカーフェスティバル

女子委員会 緒方 牧



2014年9月23日（火・祝）、グラウンセン・新潟サッカースタジアムにて、ママさん・レディーズ年代（18歳以上）対象の8人制サッカーフェスティバルを開催しました。

参加チームは合計で6チーム。全チームによるリーグ戦を行いました。新潟地区より参加の「FC JEWEL」さん、「TORIKAME」さん、下越地区より参加の「JSCLチーム青」さん、協賛頂き、県協会主催の県レベルの大きな女子の大会と位置づけし開催しました。

ご協賛頂きましたTeNY様には厚くお礼申し上げます。

昨年度より全地区を対象にチーム数を増やし、そしてTeNY様よりご協賛頂き、県協会主催の県レベルの大きな女子の大会と位置づけし開催しました。

「長岡Joias」さん、ママさん・レディーズ年代では、なかなかサッカーをやる環境がありません。またレディーズ年代でチームを作っても、レディーズ年代の対戦チームがなかったり、サッカーの試合機会が少ないのが現状です。このフェスティバルはチームを結成し、試合を数多くやってみたりと、意義のあるフェスティバルであったかと思えます。

昨年度は途中より雨が降りましたが、今年度は秋晴れの中、ちよっと動くという中で、暑いかな？という中でサッカーを楽しんで頂けたかと思えます。

今年度の優勝は「JSCLチーム白」さん、準優勝「FC JEWEL」さん、3位が「JSCLチーム青」さん、また次年度も開催できたいと思います。宜しくお祈り致します。



優勝 JSCLチーム青



準優勝 FC JEWEL



3位 JSCLチーム白

JFAガールズサッカーフェスティバル2014新潟in寺泊 第7回寺泊マリナガールズカップを開催して

中越地区女子委員長 浅井 成海

7月20日（日）、21日（月祝）にU-12の女子チームを対象としたフェスティバルを寺泊陸上競技場にて開催いたしました。県内から9チーム（新潟4、中越4、上越1）、県外から2チームの合計11チームの女子チームが集まりました。初日は3ブロックの予選リーグ、2日目は順位決定リーグを行いました。

優勝はFC新田88（コのみなさん、スモスII）（群馬）、準優勝は新潟東クラブレジェンダ（新潟）、第3位はマリナガールズ

選手、スタッフを対象とした交流戦を実施しました。U-10交流戦については、チームの枠を崩しグルーブ構成を組むことにより、選手同士の交流もあり、普段なかなか試合機会が少ない選手や上級生と活動している選手にとても良い刺激になりました。

2日間台風による天候不良が心配されましたが、幸い小雨程度で済み、無事にフェスティバルの全日程を実施することができました。フェスティバル開催にあたり運営を担当されました寺泊地区の皆様、ご協力いただきました参加チームの皆様、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

女子小学生選手の登録制度が今年度から4種へ変わりましたが、今回のようなフェスティバルを機会に4種指導者の皆様に周知していただき、今後とも女子選手の普及、育成に繋がることを願っております。



第10回TeNYキッズサッカーフェスタ U-6を終えて

キッズ委員会 委員長 堀澤 清

9月7日（日）にアルビレツジにて、第10回TeNYキッズサッカーフェスタU-6が開催されました。早朝にかけて降っていた雨も無事に上がり、さわやかな天候の中でフェスティバルがスタートいたしました。

早いものでこのフェスティバルも、(株)テレビ新潟放送網様をはじめ関係各位の皆様のご支援により10回目を迎えることができ、心より感謝申し上げます。今年度は県内各地より36チーム約400名

の参加があり、アルビレツジの素晴らしい天然芝ピッチで、男の子も女の子も元気いっぱいサッカーを楽しんでいました。また、保護者の方もたくさんのご来場あり、笑顔あふれるフェスティバルでありました。

このフェスティバルでは、毎年、はじめてサッカーをする子どもたちもたくさん参加しています。最初は不安そうでも、時間もたつと緊張もほぐれ友達と楽しくピッチを走り回り、いろいろな経験ができています。今年も、新潟県の新潟・聖籠スポーツセンター（通称アルビレツジ）を会場にまだ、残暑厳しい八月二十三日開催されました。同大会については、第一回、第三回を当協会が主管として行っており、今回の第五回大会が三度目の主管としての開催でした。

ただ、これまでと異なりイベント会社が主体でなく、サッカー協会が主体となり、準備、大会運営、競技進行などすべてにおいて、中心となって運営した点が苦心したところでした。それでも、過去二回のノウハウがあったおかげか、大会は大成功となりました。

「夢をもってがんばるみんなをEXILEは応援します！」この大会のキャッチコピーの元、私たち新潟県サッカー協会も選手たちにも夢をもっていただけるよう、努力してきました。

大勢の選手のみなさん、スモスII（群馬）、準優勝は新潟東クラブレジェンダ（新潟）、第3位はマリナガールズ



第18回国際ユースサッカー in NIIGATA

新潟選抜優勝!!

優勝	U-17 新潟選抜
2位	U-17 日本代表
3位	U-17 メキシコ代表
4位	U-17 セルビア代表



第18回国際ユースサッカー in 新潟を終えて

U-17新潟選抜監督 原 伸洋

今大会に参加した新たな。守備面では、ポーター選抜の選手及びスル保持者に対してブタツフは、各国代表レッシュヤーをかけたチームとの試合を通る状況を全体で作りました。日常の活動では経験できない大変貴重な経験をすることができました。大会を運営し、ここ数年、新潟選抜が国際ユースサッカー in 新潟で活躍する姿は珍しくなくなり感謝申し上げます。幼少の頃からこの大会を観戦し、また句から活動を開始し、新潟の選手が活躍する攻撃面では、ボール保持者がフリーとなるポジションを全体で作りました。全試合を通して各国代表には圧倒されましたが、選手達には高い集

国際ユースサッカー in 新潟大会報告

U-17新潟選抜キャプテン 佐久間 理央

今年夏の恒例イベントとなりました「国際ユースサッカー in 新潟」が、7月19日から21日の3日間開催されました。例年この大会期間中に各種イベントが行われておりますが、今年は名波浩氏、田中誠氏、清水範久氏のお招きし、3種の下越地区トレセンを対象としたクリニックを二日間行いました。初日、二日目ともあいにくの雨の中での開催となりましたが、名波氏を中心に和やかな雰囲気の中で進められ、細かな技術指導の中にも笑いのこぼれる楽しみながらの二時間のクリニックとなりました。参加した選手達の真剣な眼差しや弾け

最後にありますが、過密日程の中、選手の派遣にご協力いただいた各チーム関係者の皆様へ感謝申し上げます。今回の経験をもち、選手達が所属チームで更に自己を磨いていくことを期待するとともに、体感した日本代表選手との距離を自信や目標とし、ぜひ日本代表を目指してもらいたいと思っています。

日時 7月19日(土)～21日(月)

会場 聖籠町 スポアイランド 聖籠
新発田市 五十公野公園陸上競技場
新潟市 新潟市陸上競技場
にて開催されました。

大会当日、一試合目はメキシコ戦でした。一試合目なので不安や緊張もありましたが、ゴールや味方ゴールキーパーのファインセーブなどで2-0で勝利しました。自分の個人的な感想になりますが、二試合目の日本代表戦は一番ハードな試合だったと思います。三年連続で新潟選抜はこの大会で日本代表に勝ってしまいました。だからチームのみんなもこの試合にかける思いは強かったと思います。試合の前半は日本代表に押されて



新潟の夏の恒例イベントとなりました「国際ユースサッカー in 新潟」が、7月19日から21日の3日間開催されました。例年この大会期間中に各種イベントが行われておりますが、今年は名波浩氏、田中誠氏、清水範久氏のお招きし、3種の下越地区トレセンを対象としたクリニックを二日間行いました。初日、二日目ともあいにくの雨の中での開催となりましたが、名波氏を中心に和やかな雰囲気の中で進められ、細かな技術指導の中にも笑いのこぼれる楽しみながらの二時間のクリニックとなりました。参加した選手達の真剣な眼差しや弾ける笑顔、元気に走り回る姿が印象的であり、非常に有意義なイベントであったと思います。最後になりましたが、このイベントへの参加を快く引き受けてくださった名波氏をはじめ、ご協力いただきましたすべての関係者の皆様へ感謝申し上げます。イベントの報告とさせていただきます。

NiFA マスタープラン 2007 スタート

(一社)新潟県サッカー協会は、英語名 Niigata Football Association の略称を従来の NIFA から NiFA に変更し、これを「ニーフ」と読みます。

また、新たなスタートを切る NiFA を象徴するシンボルマークを作成。4本の脚は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。そして4地区協会が抱える新たな新潟のサッカーを GOAL に向かうサッカーボールで表現しました。さらに黒いブルーは新潟の空と海、地域に根ざした NiFA を表しています。NiFA はさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。

NiFA の理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

NiFA のビジョン

- 新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに関し心躍る環境を作り上げる。他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする。県民の健康で豊かな生活をサポートする。
- 新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようにサッカーの強化に努め、新潟県出身プレーヤーが国内外で活躍することで、県民に勇気・希望・感動をもたらす。
- 常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々との友好を深め、社会に貢献する。

NiFA の目標 2015

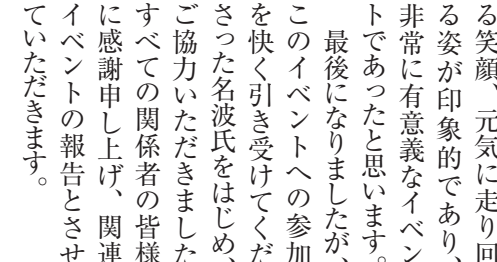
2015 年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。

- 新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
- U-17リーグに新潟県出身プレーヤーを合計で10人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する。
- 各カテゴリーの全国大会において、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。
- JFL に加盟するチームを育成する。
- 各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。

NiFA の目標 2050

2050 年にむけて、組織基盤をさらに強固なものとし、2050 年までに以下の目標を達成する。

- 新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
- U-17リーグに新潟県出身プレーヤーが合計10人以上存在し続け、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出し続ける。
- 日本で FIFA ワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。



国際ユースサッカー関連イベントについて

重松 俊紀